

# 三菱UFJ バランスインカム・グローバル (毎月決算型)

追加型投信／海外／資産複合

作成対象期間：2022年4月26日～2022年10月25日

第184期決算日：2022年5月25日 第187期決算日：2022年8月25日

第185期決算日：2022年6月27日 第188期決算日：2022年9月26日

第186期決算日：2022年7月25日 第189期決算日：2022年10月25日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、わが国を除く世界主要国の債券および株式に分散投資し、中長期的に安定した収益の獲得をめざして運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

### 第189期末 (2022年10月25日)

基準価額 7,607円

純資産総額 3,501百万円

### 第184期～第189期

騰落率 + 3.6%

分配金合計(\*) 66円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。


閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に  
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード

 **MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

### ■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

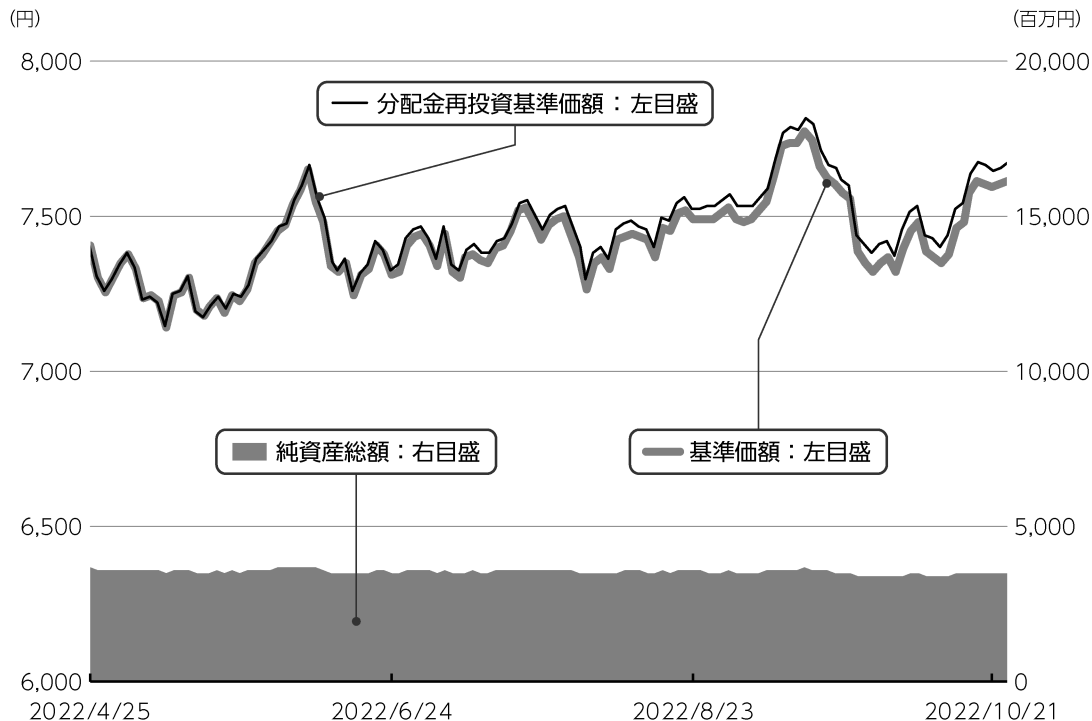
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第184期～第189期：2022年4月26日～2022年10月25日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第184期首	7,406円
第189期末	7,607円
既払分配金	66円
騰落率	3.6%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

基準価額は当作成期首に比べ3.6% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。

**基準価額の主な変動要因****上昇要因**

当作成期は米欧を中心に物価上昇圧力が高まるなか主要な中央銀行が金融政策の正常化に踏み切る一方、日銀が現状の金融政策を維持したことなどから、内外金利差が拡大したことを背景に幅広い通貨に対して円が下落しました。こうしたなか、当ファンドの主要組入通貨である米ドルやカナダドルなどが円に対し上昇したことが基準価額にプラスに寄与しました。

基準価額の主な変動要因の内訳は以下の通りです。

(内訳)

好配当海外株マザーファンド	△0.1%程度
高金利短期債券マザーファンド	4.6%程度
その他 (信託報酬等)	△0.9%程度

2022年4月26日～2022年10月25日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第184期～第189期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	49	0.662	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(23)	(0.309)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(23)	(0.309)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(3)	(0.044)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.023	(b) 売買委託手数料 = 作成期中の売買委託手数料 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	(2)	(0.023)	
(c) 有価証券取引税	1	0.013	(c) 有価証券取引税 = 作成期中の有価証券取引税 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式 )	(1)	(0.013)	
(d) その他費用	2	0.026	(d) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(2)	(0.023)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	54	0.724	

作成期中の平均基準価額は、7,420円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

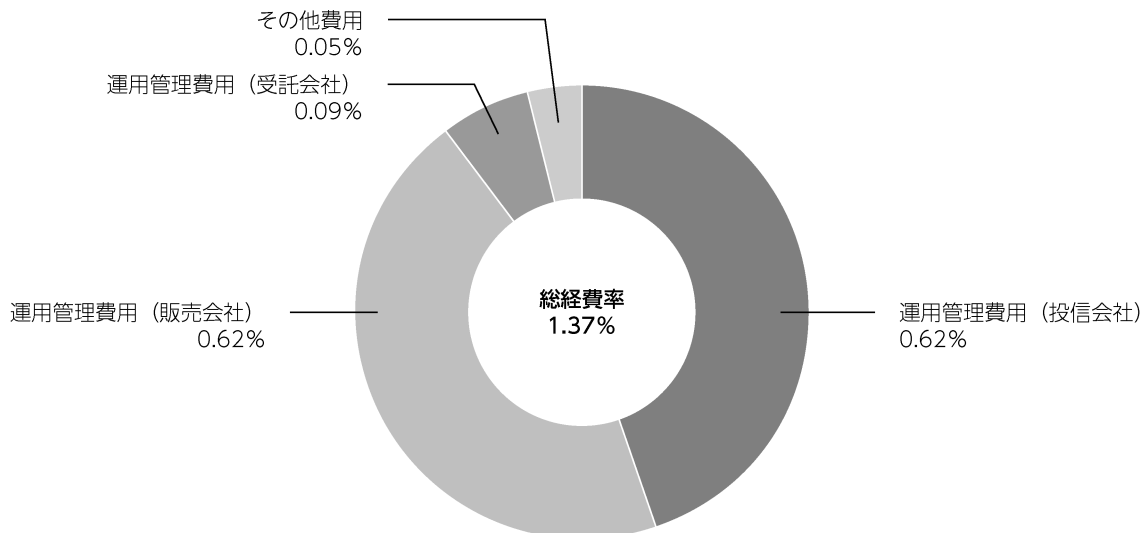
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してありません。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

**(参考情報)****■ 総経費率**

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.37%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

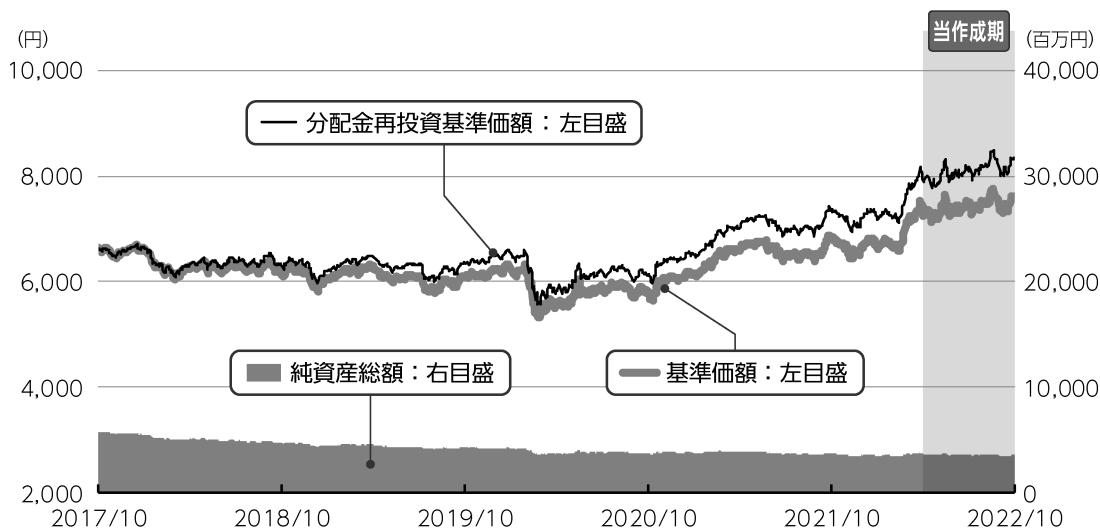
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2017年10月25日～2022年10月25日

## 最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2017年10月25日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2017/10/25 期初	2018/10/25 決算日	2019/10/25 決算日	2020/10/26 決算日	2021/10/25 決算日	2022/10/25 決算日
基準価額 (円)	6,637	6,133	6,105	5,804	6,817	7,607
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	141	112	89	130	119
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	-5.5	1.4	-3.5	19.8	13.5
純資産総額 (百万円)	5,783	4,642	4,227	3,698	3,692	3,501

※ファンド年間騰落率は、収益分配金 (税込み) を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第184期～第189期：2022年4月26日～2022年10月25日

## 投資環境について

### ▶ 海外株式市況

**海外株式市況は下落しました。**

2022年5月の米消費者物価指数（CPI）が予想以上に上昇したことなどを受け、米政策金利の上げ幅が拡大され、急速な金融引き締めが景気後退を引き起こすのではないかと懸念などから下落しました。その後行き過ぎた景気悲観論が修正されたことなどをを受けて上昇する局面もありましたが、米連邦準備制度理事会（FRB）高官の利上げ継続を示すタカ派発言を受けて再び下落しました。

### ▶ 債券市況

**全ての投資国で金利は上昇しました。**

世界的なインフレ圧力などを背景に、米

国を中心に複数の国で利上げを含む金融政策の正常化が実施されたことなどから、金利は上昇しました。

### ▶ 為替市況

**ノルウェークローネを除く投資国通貨は対円で上昇しました。**

日銀が緩和的な金融政策を維持する一方、投資国では金融政策の正常化などにより金利が上昇し、本邦との金利差が拡大したことなどから、ノルウェークローネを除く投資国通貨は対円で上昇しました。ノルウェークローネは2022年9月にかけて世界的な景気減速懸念を背景に投資家のリスクセンチメントが悪化したことなどから対円で下落しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ 三菱UFJ バランスインカム・グローバル（毎月決算型）

主として、高金利短期債券マザーファンドおよび好配当海外株マザーファンドへの投資を通して、わが国を除く世界主要国の公社債および株式に投資を行い、中長期的に信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざした運用を行いました。

各マザーファンドへの資産配分は、純資産総額に対して以下の比率を基本投資割合としています。

高金利短期債券マザーファンド	70%
好配当海外株マザーファンド	30%

ファンドの基本投資割合に準じて運用を行いました。

**▶ 好配当海外株マザーファンド**

世界を北米、欧州およびアジア・オセアニアの3地域に分け、地域毎の配当利回りの水準、配当成長性の水準および流動性等を勘案し、地域別配分を決定しています。当作成期末時点においては各地域概ね均等の配分としております。

組入銘柄については地域毎に配当利回りが高い銘柄および配当成長性が高いと判断される銘柄の中から流動性等を勘案して調査対象銘柄を決定し、減配リスク等をチェックし選定しています。

当作成期は、個別企業のリサーチの結果、米国の医薬品メーカーであるAMGEN INCや、カナダのエネルギー企業であるCANADIAN NATURAL RESOURCESなどを新規に組入れ、米国の公益関連企業であるCENTERPOINT ENERGY INCやPPL CORPなどを全売却しました。

**▶ 高金利短期債券マザーファンド****組入比率**

当作成期を通じて、債券の組入比率を高位で維持しました。

**組入状況****投資国**

商品性に基づき国別資産配分をコントロールした結果、アメリカ・ノルウェー・カナダについては当作成期を通じて投資を行い、シンガポール・オーストラリアについては利回り水準を考慮して投資の有無を判断しました。

**通貨**

相対的に利回りが高いと判断した投資対象国の中でも、特に利回りの高い国に重点配分しました。

**金利**

F T S E 世界国債インデックス1-3年（除く日本）における各国のデュレーション（金利感応度）を参考に運用を行いました。



## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

## 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第184期 2022年4月26日～ 2022年5月25日	第185期 2022年5月26日～ 2022年6月27日	第186期 2022年6月28日～ 2022年7月25日	第187期 2022年7月26日～ 2022年8月25日	第188期 2022年8月26日～ 2022年9月26日	第189期 2022年9月27日～ 2022年10月25日
当期分配金 (対基準価額比率)	<b>12</b> (0.167%)	<b>12</b> (0.164%)	<b>10</b> (0.135%)	<b>9</b> (0.120%)	<b>13</b> (0.176%)	<b>10</b> (0.131%)
当期の収益	9	12	10	9	9	10
当期の収益以外	2	—	—	—	3	—
翌期繰越分配対象額	364	369	372	377	373	375

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

### ▶三菱UFJ バランスインカム・グローバル（毎月決算型）

資産配分方針は、従前通り基本投資割合を維持します。また各資産の組入比率は、作成期を通じて同割合に準ずるよう調整を行います。

### ▶好配当海外株マザーファンド

高水準の配当収入と中長期的な株価値上がり益の獲得をめざして運用を行います。株式の組入比率については運用の基本方針にしたがい、引き続き高位（90%以上）を維持する方針です。地域別配分および銘柄選択に際しては運用の基本方針に則り、配当利回り、配当成長性、流動性等を勘案して決定します。

また、個別銘柄選定にあたっては減配リスク等のチェックを行い、配当実現の確度に留意した運用を行います。

### ▶高金利短期債券マザーファンド

わが国を除く世界主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投資することにより、利子収益の獲得をめざします。

投資対象国は、FTSE世界国債インデックス1-3年（除く日本）採用国の中から、利回り上位の複数国とし、流動性などを勘案した上で、利回り水準が上位の国に資産を重点的に配分します。投資対象とする債券の残存期間は3年以下を基本とします。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

## ▶ その他

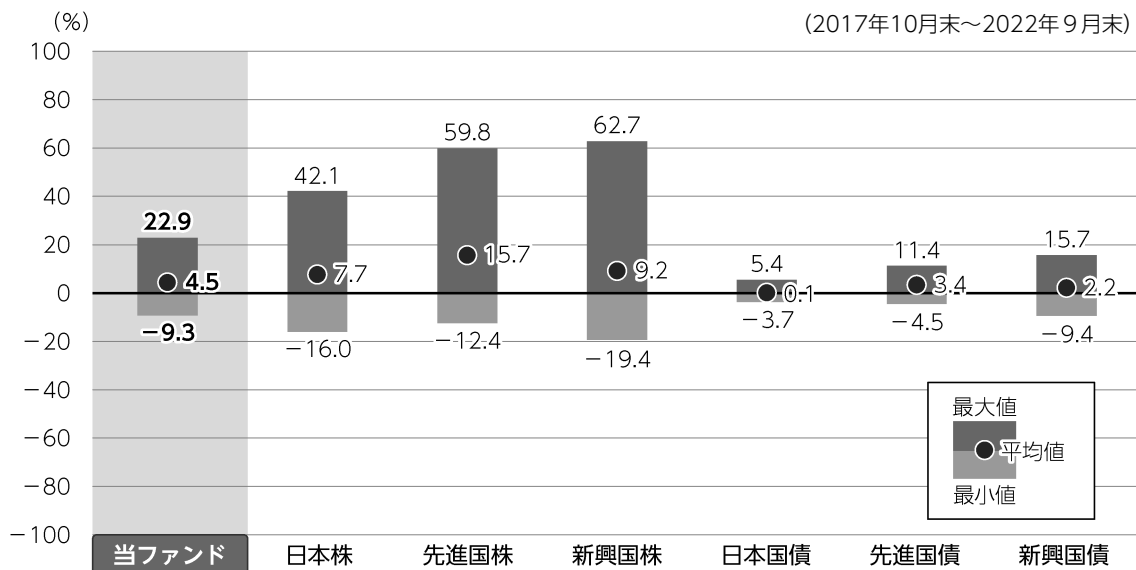
- ・該当事項はありません。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。  
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	無期限（2006年11月22日設定）
運用方針	<p>主として、高金利短期債券マザーファンド受益証券および好配当海外株マザーファンド受益証券への投資を通じて、わが国を除く世界主要国の公社債および株式に投資を行い、中長期的に信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。各マザーファンド受益証券への資産配分は、純資産総額に対して、高金利短期債券マザーファンド受益証券70%、好配当海外株マザーファンド受益証券30%を基本投資割合とします。時価変動等に伴う基本投資割合からの乖離については、1ヵ月に1回程度リバランスを行い、これを修正します。なお、各マザーファンド受益証券への資産配分が基本投資割合から一定の範囲（それぞれ±5%程度）を超えた場合には、上記にかかわらず速やかに修正を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主要投資対象	<p>■当ファンド 高金利短期債券マザーファンド受益証券および好配当海外株マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。</p> <p>■高金利短期債券マザーファンド わが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とします。</p> <p>■好配当海外株マザーファンド わが国を除く世界主要国の株式を主要投資対象とします。</p>
運用方法	わが国を除く世界主要国の公社債および株式を実質的な主要投資対象とし、分散投資を行うことにより、中長期的に安定した収益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2017年10月から2022年9月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

## 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2022年10月25日現在

## ▶ 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

ファンド名	第189期末 2022年10月25日
高金利短期債券マザーファンド	70.1%
好配当海外株マザーファンド	29.8%

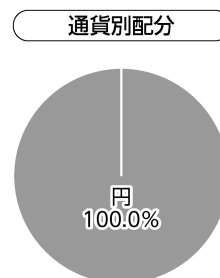
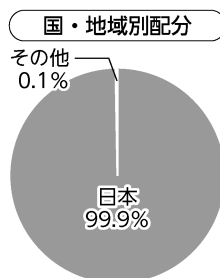
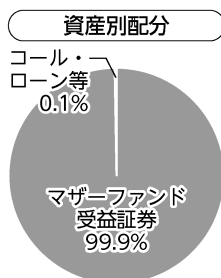
※比率は当ファンドの純資産総額に対する各マザーファンドの評価額の割合です。

### 純資産等

項目		第184期末 2022年5月25日	第185期末 2022年6月27日	第186期末 2022年7月25日	第187期末 2022年8月25日	第188期末 2022年9月26日	第189期末 2022年10月25日
純資産総額	(円)	3,507,498,008	3,506,579,499	3,538,805,037	3,525,636,006	3,423,247,632	3,501,067,069
受益権口数	(口)	4,881,844,508	4,792,059,625	4,770,646,656	4,711,046,614	4,636,092,682	4,602,411,657
1万口当たり基準価額	(円)	7,185	7,317	7,418	7,484	7,384	7,607

※当作成期間中（第184期～第189期）において追加設定元本は42,620,901円  
同解約元本は 376,707,007円です。

### 種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先としてのファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

290230

2022年10月25日現在

## 組入上位ファンドの概要

## 高金利短期債券マザーファンド

## 基準価額の推移

2021年10月25日～2022年10月25日



## 1万口当たりの費用明細

2021年10月26日～2022年10月25日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a) その他費用	5	0.038
( 保管費用 )	(5)	(0.038)
( その他 )	(0)	(0.000)
合計	5	0.038

期中の平均基準価額は、12,721円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

## 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：8銘柄)

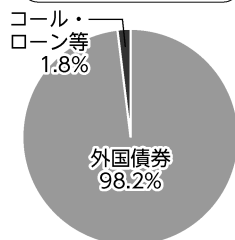
順位	銘柄	種類	国・地域	業種/種別	比率(%)
1	1.5 CAN GOVT 240901	債券	カナダ	国債	31.6
2	1.125 T-NOTE 250115	債券	アメリカ	国債	16.1
3	0.5 T-NOTE 231130	債券	アメリカ	国債	13.5
4	1.75 NORWE GOVT 250313	債券	ノルウェー	国債	12.0
5	0.25 CAN GOVT 240401	債券	カナダ	国債	8.3
6	3 NORWE GOVT 240314	債券	ノルウェー	国債	7.6
7	3.25 AUST GOVT 250421	債券	オーストラリア	国債	6.6
8	2.75 AUST GOVT 240421	債券	オーストラリア	国債	2.6
9					
10					

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

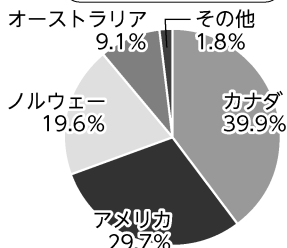
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## 種別構成等

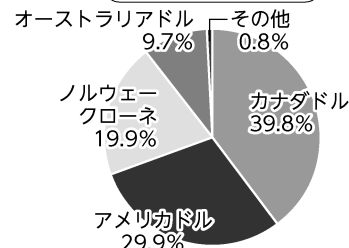
## 資産別配分



## 国・地域別配分



## 通貨別配分

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先としてのファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

290245

2022年10月25日現在

## 組入上位ファンドの概要

## ▶ 好配当海外株マザーファンド

## 基準価額の推移

2021年10月25日～2022年10月25日



## 1万口当たりの費用明細

2021年10月26日～2022年10月25日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料 (株式)	20 (20)	0.099 (0.099)
(b)有価証券取引税 (株式)	10 (10)	0.051 (0.051)
(c)その他費用 (保管費用)	14 (13)	0.070 (0.067)
(その他)	(1)	(0.003)
合計	44	0.220

期中の平均基準価額は、19,877円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

## 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：120銘柄)

	銘柄	種類	国・地域	業種/種別	比率(%)
1	EXXON MOBIL CORP	株式	アメリカ	エネルギー	1.1
2	HANNOVER RUECK SE	株式	ドイツ	保険	1.1
3	AMGEN INC	株式	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.0
4	CANADIAN NATURAL RESOURCES	株式	カナダ	エネルギー	1.0
5	KONINKLIJKE AHOLD DELHAIZE N	株式	オランダ	食品・生活必需品小売り	1.0
6	GENERAL MILLS INC	株式	アメリカ	食品・飲料・タバコ	1.0
7	CHEVRON CORP	株式	アメリカ	エネルギー	1.0
8	ABBVIE INC	株式	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.0
9	WOODSIDE ENERGY GROUP LTD	株式	オーストラリア	エネルギー	1.0
10	SWEDBANK AB - A SHARES	株式	スウェーデン	銀行	1.0

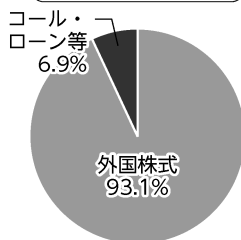
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
 ※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

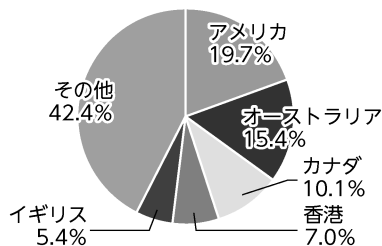


## 種別構成等

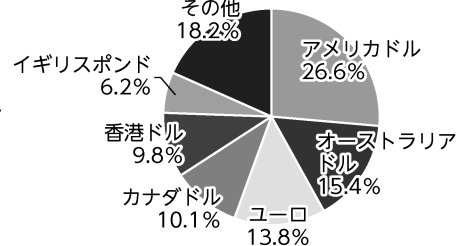
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

# 指数に関して

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

### ●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。





三菱UFJ国際投信